

ムスジイトンボ

Cercion sexlineatum (Selys)

トンボ目イトトンボ科

石川県カテゴリー 情報不足

国カテゴリー なし

選定理由 最近、県内の沿岸地方で発見されたが、能登島を除けば観察例数が少なく定着性も明らかでない。

形態 腹長21~25mm、後翅長14~17mm。セスジイトンボに似るが、眼後紋が細長い。メスの肩に黒条が3対=6本ある。

国内分布 主に本州中部以西、四国、九州、沖縄。

県内分布 小松市日末町、志賀町（上野、大津）、七尾市能登島町（通、二穴、佐波）。

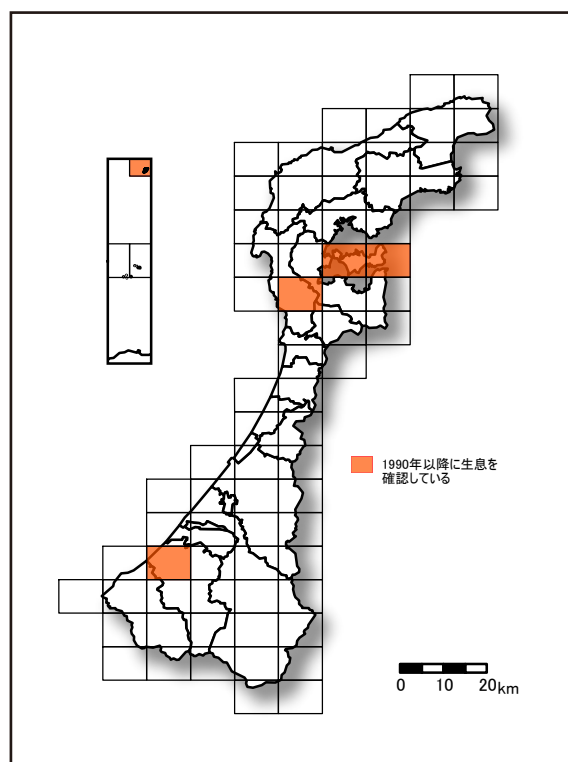
生態 暖地性種で、気候温暖化に伴って沿岸地帯を北上中である。浮葉植物などのある平地の池沼で育つ。

生息地の条件 温暖地であること以外はセスジイトンボやクロイトンボなどの普通種と共通。

生存の危機 沼沢の埋め立てや汚染などが影響し得る。

参考文献 二橋 亮・二橋弘之 2006. 能登半島のトンボ相(2). Tombo, 48: 18-20.

写真(図)はありません。



県内の分布